

卒業、入学、そして入園

園長 小島 澄人

卒園、卒業、入学、そして入園式、わずか一週間、子どもたちにとって大切な日です。卒園児を送り出し、またその子たちの入学式に出席する、47回も、何度繰り返しても毎回感激します。

卒園式でした、大勢の子どもたちの卒園式、高熱のために一人の子が欠席して卒園証書が渡せませんでした。何日か後にその子とお母さんが幼稚園に来ました。もう春休み、けどいつの間にか先生たちがたくさん集まり、舞台には卒園式の舞台が整い、舞台下にはその日の「預かりの子どもたち」が整列して椅子に座っています。ピアノを先生が演奏し、司会がアナウンスします。子どもたちは歌も歌い、思い出も一人一人がしっかり述べてくれました。私は舞台の上で感激し、嬉しい長年の中で忘れられない卒園式でした。本当に素晴らしいその子一人だけの「卒園式」が行われました。

そして今日、子どもたちの入学式に参列しました。近隣の小学校の入学式、先生たちで門に立って「おめでとう」「がんばってね」の声を掛けてきました。コロナ前までは毎年、門に立ってお祝いしていましたが、今年からまた復活させました。新しいランドセルを背負ってのかわいい姿が見られました。二年生やそれ以上の学年の子どもたちも寄ってきました。抱きついてきたり、大勢の子供たちに囲まれ、本当にうれしかったです。

また、たくさんの子どもたちが入園してきます。楽しみです。どんな子かな、「幼稚園は楽しいよ」「幼稚園は素敵な仲間がたくさんいるよ」、いっぱい伝え、いっぱいお迎えしたいです。よろしくお願いします。

春休みに電話が入りました。懐かしい声です。かつて幼稚園にお勤めをした後、職場結婚をしたので、その先生は小学校の先生になりました。内容は、卒園児のことでした。今は、支援級のリーダーをしているようで、卒園児が学校に来られなくなり、年度途中からその先生が引き受けたようです。それから来るようになり、今度は「行事等にどうかからわせたらいいか」、との問い合わせでした。私は「その子を受け入れる思い、愛情、先生の表情、それが素晴らしい、頑張って」と励ました。小学校の先生として、がんばっているようです。一人の子ども、一人の先生、どの家庭も、新年度、素敵な年にいたしましょう。